

多様な性への配慮 ステッカーで発信

事業者向け
配布
市
業
広
帯
事

帯広市は1日、多様な性に配慮した取り組みを行う事業者などに「OBHIRO LGBTQ+」ステッカーの配布を始めた。

昨年12月に導入された「帯広市パートナーシップ制度」を契機に企画。LGBTなど性的少数者に対する理解を深め、一人ひとりを尊重するまちづくりを共に進めるため、ステッカーをツールとして活用してもらうことを目指す。

ステッカーは直径10センチの円形で、日高山脈や畑があらわれた帯広らしいデザイン。畑のパッチワークは

レインボーフラッグにも使われる性的少数者の尊厳と社会運動を象徴する6色で表現。当事者からの声も反映した。

対象は、多様な性に配慮した取り組みを実施する、または予定がある法人や個人事業者、団体など。市内に事業所があることが条件。ステッカー配布先の事業所名が市ホームページに掲載され、取り組みや姿勢をPRするきっかけとなる。市では既に正面玄関など3カ所に掲示している。

希望者は、申込書を市民活動課へ提出する。郵送も



多様な性に配慮した取り組みを行う事業者などへ配布するステッカー

可。ステッカー配布事業者向けの多様な性に関するリーフレットを併せて受け取ることも可能。事業費は27万1700円で1000枚製作。今年度の事業所雇用実態調査の調査票と併せて申込書を同封。1540事業所に10月31日に発送し、周知した。同課は「ステッカーを見て、多様な性について調べて理解を深めてほしい」と話している。（菊地青葉）

